

甚大化する災害に対応するため、協定を見直しました

7月20日、東北電力ネットワーク株式会社古川電力センターと市との間で「災害時の協力に関する協定」を締結しました。

この協定は、平成22年1月29日に締結した「災害時における施設利用協力に関する協定」を見直したものです。

昨今、台風などの災害による被害が甚大化する傾向にあるため、電力復旧作業が迅速に行えるよう、災害時に求められるリエゾン（情報収集・伝達者）派遣、支障木の撤去や道路啓開などのための項目を追加し、再締結しました。

また、再締結に伴い、災害時の施設利用のみの内容ではなく、なるため、協定の名称も変更となりました。

迅速な電力の復旧は市民に安心を与えるだけでなく、さらなる復旧につながることもから、優先すべきものです。有事の際は、強化された協定に基

づき密に連携をとりながら、復旧作業を行います。

協定に追加された項目

1	災害情報の共有・ドローンなどの活用
2	大崎市災害対策本部へのリエゾン（情報収集・伝達者）の派遣
3	電力設備の復旧優先
4	電力復旧作業への協力

災害時の協力に関する協定 締結式



▲協定書を取り交わした伊藤市長（左）と東北電力ネットワーク株式会社古川電力センター 山田所長

災害時等における電動車両及び給電装置の貸与に関する協力協定を締結

8月6日、宮城三菱自動車販売株式会社と市との間で、「災害時等における電動車両及び給電装置の貸与に関する協力協定」を締結しました。

災害時などにおいて、協定の先市町村に対しプラグインハイブリッドEV（アウトランダーPHEV）を無償で貸し出すものです。

災害対策本部の移動車両としてだけでなく、停電時には避難所などで電気供給を行うことにより、携帯電話の充電や冷暖房、照明の確保が可能となります。

貸与車両は、電気力で走る電動車両でありながら、ガソリンエンジンも搭載し、エンジンの発電も組み合わせれば、ガソリン満タンの状態で、一般家庭電力量の最大10日分の電力が供給可能です。

また、協定締結後には実際に車両を用いて、扇風機などを動かすデモンストレーションも行われました。

私たちの暮らしに欠かすことのできない電気が、災害などの停電時にも供給されることは、大変強い支えとなります。

貸与の貸与に関する協力協定締結式



▲協定書を取り交わした伊藤市長（左）と宮城三菱自動車販売株式会社 千田代表取締役社長



▲協定締結後、実際に車両を使用して行われたデモンストレーション



▲7月21日、市内での交通死亡事故ゼロ6カ月間達成に伴い、宮城県警察本部長「讃辞」が伝達されました。

29日	●大崎市長杯第3回大崎市市民パークゴルフ大会
20日	●令和2年度交通安全防止・労働災害防止決起大会
19日	●令和2年第2回大崎市議会臨時会
8日	●「ありがとラリゾートのり号」ラストランセレモニー
6日	●災害時等における電動車両及び給電装置の貸与に関する協力協定（宮城三菱自動車販売株式会社）
3日	●令和2年度大崎市行政長連絡会（3日・7日） ●令和2年度宮城県市町村長会議

2020 8月の主な出来事

Discover Osaki

地域発 お・ら・ほ・の・ま・ち

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみや愛着を感じませんか。おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほの美味しい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント……。そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。



鳴子温泉発

世界に誇る水管理！

8月9日、中山コミュニティセンターで、夏の「中山塾」（鳴子公民館中山地区分館事業）が開催されました。



家族連れやジュニアリーダーが参加し、世界農業遺産（水管理）を学びました。

▲南原穴堰の説明を聞きました。

参加者は、1640年代から実際に使用されていた歴史のある南原穴堰や岩堂沢ダムを見学しました。

当日はあいにくの雨でしたが、参加者は、穴堰までの道のりを楽しみ、普段は見ることができないダム内部の様子がみられ、有意義な時間を過ごしていました。昼食後は巨大シャボン玉づくりが行われるなど、盛りだくさんの内容で、笑顔が絶えない夏の思い出となりました。

有終の美を飾る リゾートみのり

8月8日～10日、JR東日本の臨時快速列車「リゾートみのり」が、長年の運行を終える「ラストラン」で皆さんにお別れをしました。

平成20年に運行を開始したみのりは、約12年の間、延べ21万人を超える観光客に、仙台駅～新庄駅（山形県）間の、実りある旅を提供してきました。

鳴子温泉駅では8日、ミニセレモニーが行われました。地域住民など関係者約80人が集まり、ホームで横断幕を掲げ、手旗を振りながら温かく見送りました。また、沿線からも最後の姿を見ようと、地域の皆さんが感謝の気持ちを込めて手を振り、別れを惜しまれました。



▲名残惜しみながら温かくお見送りしました。

田尻発

地域の魅力・情報発信の拠点

田尻総合支所内には、地域の観光・歴史・文化・世界農業遺産資源などの情報を発信する「情報発信室」や「田尻歴史展示室」、そして10月に収蔵が予定される国指定の重要文化財「木造千手観音坐像」の観覧室などを整備しています。

情報発信室では、地域の観光や世界農業遺産資源などを紹介する映像を常時テレビ放映しているほか、世界農業遺産を最新技術で体感するバーチャル・リアリティ（VR）映像体験コーナーを設置し、訪れた皆さんにわかりやすい情報発信を行っています。

田尻歴史展示室では、田尻地域で出土した国指定の重要文化財、「遮光器土偶」のレプリカや、地域の主な遺跡の説明パネル、出土品を展示しています。

田尻地域のランドマークで、たくさんの魅力に触れてみませんか。



▲VR体験には、Youtube公式アプリが必要です。雄大な大崎耕土を体感してみませんか。